

# 歌や踊りで交流

大崎重症心身障害児(者)を守る会

## 古川で夕涼み会開く

大崎重症心身障害児(者)を守る会(大友祥子会長)は19日、大崎市古川保健福祉プラザで夕涼み会を開き、障害を持つ子どもや保護者らが、歌や踊りを通じて交流を深めた。

夕涼み会は、会員同士の親睦を深めることを目的に開催。障害児・者、保護者、ボランティアら合わせて約100人が参加した。

交流会では、会員18人がキラキラ星を合唱したほか、栗原市のダンスサークル「サンバ栗原」(狩野栄会長)がサンバを披露。リスミカルに纏り広げられる踊りに、子どもたちも手をたたくて楽しむ様子が見られた。

大友会長は「障害者は普段外出することが少ないが、この機会に大いに楽しんでもらえたら」と語っていた。

同会は、障害のある子どもを持つ保護者らが、子育てについての情報交換や交流を図るつと、毎年1年に結成。福祉施設で学ぶ研修会、福祉施設訪問などの活動に取り組ん



サンバの鑑賞を楽しむ参加者

様子が見られた。大友会長は「障害者は普段外出することが

少ないが、この機会に大いに楽しんでもらえたら」と語っていた。